

税金はなぜだいじなのか 〜川越小学校「租税教室」〜

次代を担う子どもたちに税金の意義や役割を正しく理解してもらうために、川越市市民税課職員による「租税教室」が小学校9校で行われました。

税金に関するクイズ、DVDの視聴、講義を通して、税金がくらしの中でのどのようなことに使われているか、税金がなぜだいじなのかを学びました。



1億円のレプリカに驚く子どもたち



熱い講義を真剣に聴く子どもたち

11月30日に川越小学校の6年生を対象に行われた租税教室では、児童から、「税がないと、町がゴミだらけになったり、信号が動かなくなったり、道路がガタガタになったりすると知って驚いた。」「安全な社会、便利な社会、楽しい社会には欠かせないものが税金だとわかった。」「はじめて税のことを考えた。」「税がないとたくさんの当たり前がなくなってしまう。自分たちの生活に深く関わっていることを知った。」「税金などいらなと思うことがあった。また、税金がどうして上がるのかわらなかつたので、そのことを知る良い機会になった。」「など、様々な感想が聞かれ、関心をもって授業に取り組んでいたことがうかがえました。

博物館 第27回むかしの勉強・むかしの遊び展



石臼に挑戦!

昭和30〜40年代、テレビや冷蔵庫、洗濯機などの電化製品の普及により、人々のくらしは大きく変わりました。当館で開催中の「むかしの勉強・むかしの遊び展」は、地域の人々のくらしの移り変わりを、収蔵資料でたどっていきます。

学校の教室や家族団らんの居間、駄菓子屋の店先も再現されています。さらに今回の展示では、明治から現代までに架けられた3世代の高沢橋の移り変わりについての展示や、菓子屋横丁のお店を中心として、その時代の人々の遊びやくらしの様子について描かれた色紙絵を展示しています。

展示期間中には市内の全市立小学校の3年生が、この展示を活用して社会科「川越市の人々のくらしのうつりかわり」の学習を行っています。特別展示室では、冷蔵庫の「今とむかし」について博物館

職員のミニ授業を受けたり、再現された大型展示で資料を調べたりする活動をしています。また体験学習室では、洗濯板を使った洗濯や炭火アイロン等を、学習アドバイザーの協力のもと体験しています。子どもたちは今とむかしの道具を比較しながら調べ、人々のくらしの移り変わりに生き生きと想像を巡らせていました。



学習アドバイザーによる学習支援

第27回 むかしの勉強・むかしの遊び展

2月26日(日)まで開催中です。
11日(土)と18日(土)には、むかしの道具を体験できます。
ぜひ、ご家族でお越しください。
詳しくは、博物館までお問い合わせください。

TEL 222-5399



の1年間

1年生たちも、もうすぐ2年生。
を体験して成長した1年間で、
します。



ドキドキの入学式

入学式 4月

学校のシンボル、大きなけやきの木に迎えられ99名の新入生が入学しました。小学校生活への期待に胸を膨らませ、わくわくドキドキの入学式でした。

1年生を迎える会 4月

プレゼントのペンダントを首にかけてもらい6年生と手をつなぎながら、花のアーチをくぐって笑顔で入場。かわいい1年生がみんなの仲間入りをしました。

全校遠足 5月

なかよしグループのお兄さ



かわいい1年生が仲間入り

ん、お姉さんと一緒に川越水上公園に行きました。オリエンテーリングやグループで決めた遊びをして、楽しい時間を過ごしました。

交通安全教室 5月

交通指導員さんを招き、横断歩道の安全な渡り方を学びました。「右よし、左よし、右よし、渡ります。」声を出してよく確かめ、しっかり手を挙げて渡ることができました。

初めてのプール 6月

大きなプールと、シャワーの冷たい水にびっくり。流れるプールや宝拾いなど大はしゃぎでした。明るく元気な声がプール



全校遠足



手を挙げて、「渡ります」

からたくさん聞こえてきました。

虫捕り 9月

生活科の勉強で、学校の近くの草むらに虫捕りに出かけました。持ってきた虫捕り網でたくさん捕まえました。チョウやバッタ、カマキリなど虫かごに入れて持って帰り、大切に育てながら観察しました。

音楽会 9月

体育館のステージに立ち、練習してきた曲を発表しました。「にんげんていいな」は体を揺らして大きく口を開いて歌えまし



初めてのプールで大はしゃぎ

校外学習 10月
こども動物自然公園に行きました。ペンギン、カンガルー、コアラなどたくさんさんの動物を見ました。モルモットやウサギを抱いて、動物と触れ合うこともできました。



虫捕り

